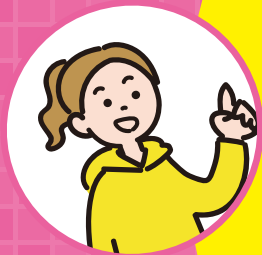


上手なインターネットの
コミュニケーションをマスターしよう!

ネット 安全教室



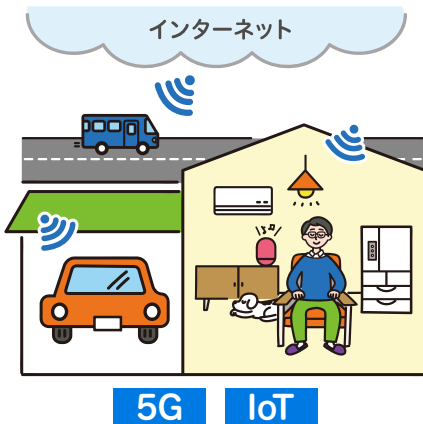
年 組 名前

インターネットの可能性と 情報セキュリティの重要性



便利なインターネットは、これからも私たちの世界を広げてくれる。でも、その一方で危険な目にあう可能性もあるから、注意が必要！

進歩するインターネットの技術



最近よく聞く「5G」や「IoT」という言葉。5Gは大量のデータをより速く送受信できる無線通信の仕組みで、IoTは「モノのインターネット」の意味。通信技術は日々進歩していて、IoTの例では、外から家の家電を操作したり、畑の土が乾いたら自動で水をまいたりなど、さまざまなことが可能に。

インターネットで広がる学び



インターネットがあれば、外国の学生たちとリアルタイムで交流できるほか、カメラを使って物を計測したり、目では見えない生物の体内器官を観察したりすることも可能に。VRという技術を使って、例えば縄文時代の人の生活を体験するといった学びも実現します。

情報セキュリティが大切！

便利な一方、インターネットには危険も。IDやパスワードを盗み出して悪用しようとしたり、お金を盗んだりなど、インターネットを通じたサイバー犯罪が世界中で多発しています。そのため、そうした犯罪から大切な情報や身を守る「情報セキュリティ」が重要になっています。



知識とテクノロジーで安全を守る



情報セキュリティを高めるには、ネット上の犯罪やトラブルにはどんな危険があり、どう対策すればいいのかを学ぶこと、そして、危険を回避する「技術（テクノロジー）」を使うことが重要です。セキュリティソフトやパスワードなどの大切な情報を簡単に盗めなくする暗号化ソフトなどを積極的に活用しましょう。

知ってた！
!?

セキュリティソフトの役割

セキュリティソフトは、パソコンやスマホの中を常にチェックしていて、コンピュータウイルスに似た動きや特徴があればすぐに発見し、削除や封じ込めをしてくれます。また、受信したメールや閲覧しようとしているWebサイトにも、コンピュータウイルスが隠れていないかを監視。さまざまなサイバー犯罪を防ぐことに役立っています。



ネットの情報には 注意して向き合おう

ネット上にはさまざまな情報があふれている。でも、そのすべてが本当の情報とは限らない。だからなんでもすぐに信じないで、まずは「本当かな?」と確かめる習慣を!



情報をうのみにしない

新型コロナウイルス感染症が流行しはじめたとき、「お湯を飲むと予防できる」といった間違った情報がネットで流れました。ネット上にはこのような「誤情報」「フェイクニュース」と呼ばれるものがたくさんあります。それらが生活や健康に悪影響を及ぼすこともあるので、ネットで知った情報はまず、新聞社や関連する企業のWebサイトを見るなどして、本当かどうかを確認するようにしましょう。

クイズ

Q1

実際にネットで広まった間違った情報はどれ?
あてはまるものをすべて選ぼう!

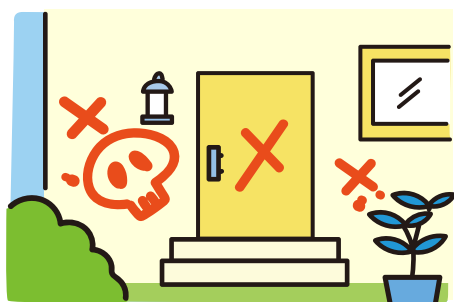
- ①ニンニクを食べると新型コロナウイルス感染症の予防になる
- ②5Gの電波が新型コロナウイルスを広めている
- ③地震が起こったとき、動物園からライオンが逃げた
- ④2020年4月に東京がロックダウン（都市封鎖）される



→答えは9ページにあるよ!

一度ネットに流れた情報は消せない

ネットでおもしろい情報を見つけると、つい「誰かに教えてあげたい」と思いますよね? でも、それが間違ったものだったら、情報を信じた人に迷惑をかけてしまい、それが原因で人間関係が壊れてしまうことも。さらに、インターネットの情報はあっという間に大勢に広がってしまう上に、時間がたっても取り消すことができません。本当かどうか確認できない情報は、簡単に信じたり、広めたりしないように!

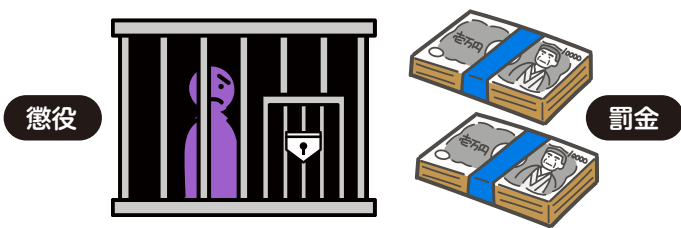


インターネットでのNG行為と不正アプリへの対策



インターネットを利用する上では、犯罪となる行為もあるので要注意。また、スマホアプリの中には危険なアプリもひそんでいるので気をつけよう！

違法コンテンツの視聴は犯罪！



ネット上には動画や音楽が楽しめるWebサイトがありますが、その中には法律を守っていない「違法コンテンツ」も。これらは作者に無断でネット上にアップされ、そのサイトに広告を掲載するなどしてお金を稼いでいます。無断アップロードはもちろん、違法コンテンツだと知りながらダウンロードすることも犯罪。懲役や罰金の対象になるので注意しましょう。

つくった人を守る著作権



無断アップロードや違法ダウンロードが犯罪になる理由は、作者を守るための「著作権」という権利を侵害しているから。音楽などの作品はつくった人の思いや考えなどを表現したもので、作品がどう使われるかは、作者に決める権利があります。著作権の対象は、漫画や音楽だけでなく、写真や小説、絵画なども。一般の人がつくったものも含まれます。

クイズ

Q2

インターネット上に勝手にアップロードしてはいけないものはどれ？
あてはまるものをすべて選ぼう！

- ①録画したテレビ番組
- ②食べた料理の写真
- ③好きなアーティストの曲の歌詞
- ④有名な建物の写真

→答えは9ページにあるよ！

不正アプリに要注意！



スマホやタブレットなどを使うときに不可欠なのが「アプリ」ですが、その中には危険な「不正アプリ」もあります。これを使うと、機器に登録されている名前や電話番号、メールアドレスなどが盗まれて犯罪などに悪用されてしまう恐れが。また、盗撮や盗聴をされたり、スマホ内の画像を盗み出されたり、勝手に有料アプリやコンテンツを購入されることもあります。

不正アプリの被害を防ぐには？



不正アプリは、お得さをアピールしたり、人気のアプリに見せかけたりしてダウンロードさせます。被害を防ぐには、怪しいアプリをダウンロードしないこと。ダウンロードするときは、アプリストアのレビュー（評価）をチェックしましょう。「だまされた」といった書き込みがある、高評価と低評価が極端に分かれている場合は要注意。不正アプリを発見・削除するセキュリティソフトを入れておくことも効果的です。

SNSトラブルと 個人情報

LINEやTwitter、InstagramやTikTokなどのSNSは楽しいものだけど、トラブルも増加中。それに大きく関係しているのが個人情報なので気をつけよう！

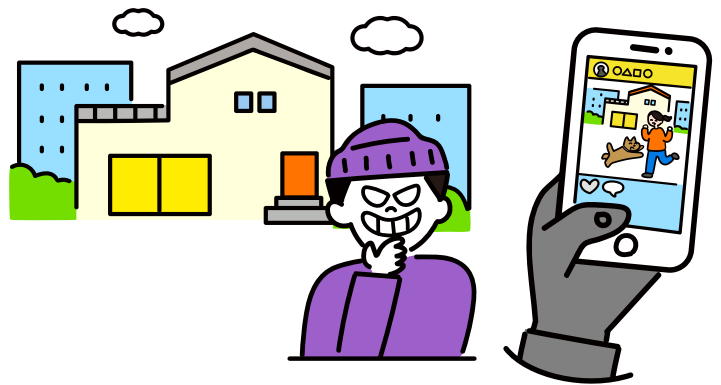


未成年のSNSトラブルが増加中



未成年者がSNSに関連する犯罪被害にあう件数は年々増加。被害者の約9割は中高生で、特に中学生の割合が増えています。例えば、SNSで「簡単なアルバイト募集」といった投稿をして、応募してきた中高生に「振り込め詐欺」の現金受け取り役をさせるものなど。SNSのメッセージ機能で誘い出し、写真を撮ったり、お金を要求したりする場合があります。

個人情報につながる写真の投稿はしない！



SNSトラブルで多いものには、投稿写真が原因となるものが。プロフィール写真に写っていた制服から学校や住んでいる地域が特定されて、ストーカー被害につながったり、家族旅行中の写真を投稿して家が留守だとわかり、泥棒被害にあったりすることも実際に起きています。

SNS上で知り合った人とのやりとりに注意！

SNSでは共通の趣味などを通して、顔を知らない人と仲良くなる場合があります。ただ、そうした相手から「会いたい」「連絡先を教えて」「写真を送って」などと頼まれ、最終的にお金を要求されたり、おどされたりするトラブルが増加中。SNS上で知り合った相手は、年齢や性別を偽っている場合もあるので、直接会わないのはもちろん、やりとりにも気をつけましょう。困ったら迷わず身近な大人に相談！



クイズ
Q3



写っていると個人情報や場所が特定されてしまうかもしれないものはどれ？ あてはまるものをすべて選ぼう！

- ①郵便物
- ②使っているスマホの機種
- ③アップの自撮り写真
- ④電信柱

→答えは9ページにあるよ！

上手なネットコミュニケーションとSNSいじめへの対策



ネットやSNSでは文字だけでコミュニケーションをすることが多いもの。SNSいじめやトラブルを防ぐ、ネットコミュニケーション術を身につけておこう！



文字だけのコミュニケーションは丁寧に！

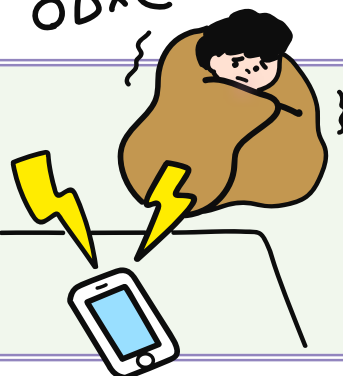
文字だけのコミュニケーションでは、おたがいの身振り手振りや表情が見えないので、乱暴な印象になったり、伝えたいことを伝えきれなかったり、時には間違っって伝わってしまうことも。直接話すときも同じですが、文字だけでコミュニケーションをとる場合は特に、「相手にどう伝わるか」をよく考えて、丁寧なやりとりを心がけましょう。

ネットによるいじめは絶対にダメ！

SNSで誰かの悪口を書き込んだり、グループチャットから仲間はずれにしたりといった、「SNSいじめ」や「ネットいじめ」が社会問題になっています。直接言うわけではないので、軽い気持ちで書き込こんでしまいがちですが、何人もの人から心ない言葉が届いたら悲しいもの。自分が言われたらどう思うかを常に考えて書き込みをすることが、こうしたいじめを防ぐことにつながります。



00-x00-00
0DX@00



覚えておこう！

SNSで嫌な思いをしてしまったら……

自分は気をつけていても、SNSやネットで傷つけられてしまうことはある。そうなったらまず、身近な大人に相談。それができない場合は、国が用意している相談サービス（10ページで紹介）も利用してみましょう。SNSやネットの利用をしばらく休んで、距離を置くことも大切です。

サイバー犯罪の被害と その防止法

ネットを使っていれば、誰もがサイバー犯罪の被害にあう可能性がある。サイバー犯罪の手口や特徴を知り、対策を覚えよう！



お金をだまし取ろうとするワンクリック詐欺



おもしろそうな動画が「今なら無料！」というボタンが表示されたら、クリックしてしまいたくなるもの。でも、クリックすると「会員登録完了。登録料30万円を支払ってください」といった画面に。焦ってしまいますが、こうしてお金をだまし取ろうとするのが「ワンクリック詐欺」。サイバー犯罪の代表例です。

おどしには焦らず冷静に！



ワンクリック詐欺などでは、金銭の要求とともに「個人情報も特定した。支払わなければ訴える」といったおどし文句が出てくることがあります。さらにカメラのシャッター音が鳴り「インカメラであなたの顔を撮影した」といったものも。どちらも無視すれば被害にあうことはないので、冷静に対応を。



フィッシング詐欺に要注意！

サイバー犯罪のもうひとつの代表例が「フィッシング詐欺」。これは本物のサービスやWebサイトのフリをして、あなたのIDやパスワードなどの情報を盗もうとするもの。例えば、利用しているゲームのサイトから「アカウント情報の確認のため、IDとパスワードを入力してください」という文章と、確認用のURLが書かれたメールが届いたら要注意。よくわからないURLは絶対にクリックしないこと！

クイズ

Q4

サイバー犯罪の被害にあわないための正しい行動はどれ？
あてはまるものをすべて選ぼう！

- ①「無料」などと書かれたボタンは簡単にクリックしない
- ②よくわからないメールの送信元のアドレスを確認する
- ③間違えて登録してしまったので、表示された電話番号に問い合わせる
- ④パソコンやスマホにセキュリティソフトやアプリを入れる

→答えは9ページにあるよ！

ネット依存と トラブルの抑止法



インターネットのやりすぎによる「ネット依存」や、さまざまなトラブルを防ぐにはルールづくりが大切。家庭内で話し合ってみよう！

ネットのやりすぎは病気かも!?

常にインターネットにつながっていることが最優先で、ほかのことに使う時間や方法をコントロールできなくなる状態を「ネット依存」といいます。こうなると、友だちと直接話すのが苦手になったり、イライラしやすくなったりして、インターネットがないとなにもできなくなってしまう。いくら便利で楽しくても、ネット利用はほどほどに。



ひとつでもあてはまったら 「ネット依存」かも?

- 気がつくときインターネットをしている
- スマホが気になって物事に集中できない
- 友だちや家族と遊ぶよりもインターネットをしたい
- 友だちからの連絡にすぐ返信しないと不安になる
- 逆に友だちからの返信がすぐにこないと不安になる
- インターネットをしていて寝不足かも

ゲームの課金トラブルに注意!



キャラクター



ゲーム内イベント



レアアイテム

スマホゲームのやりすぎもネット依存の一種。無料でダウンロードして遊べるものの、遊べる回数を増やしたり、強いキャラクターやアイテムをゲットしたりするには、「課金」が必要なことも。ただ、知らぬ間にたくさん課金していて、気づいたときには数十万円になっていた、というトラブルが問題になっています。

ルールをつくって守り、困ったことがあれば大人に相談



ネット依存を含めて、インターネットに関するさまざまなトラブルを防ぐには、家庭内でのルールづくりが大切。「利用する場所や時間」「使えるアプリやWebサイト」「やりとりできる相手」などを決めて、それを守りましょう。その上で困ったことがあれば、ひとりで悩まず身近な大人に相談。これがネットを楽しく、安全に使うコツです!

クイズ

Q5

ネットを使っていて起こることで、身近な大人に相談・確認したほうが
いいものはどれ? あてはまるものをすべて選ぼう!

- ①身に覚えのないプレゼント当選メールが届いた
- ②SNSで知り合った人から、どうしても会いたいと言われた
- ③SNSで嫌なことを言われた
- ④本当かどうかわからないが、芸能人の面白い情報を見つけた

→答えは9ページにあるよ!

クイズの答えと解説

Q1

〈正解〉

①②③④

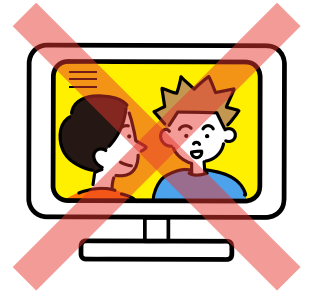
これらはすべて、実際にネットで広まったフェイクニュース。どれも「あり得そう」なものですが、なんの証拠もない情報でした。「早く誰かに教えたい」と思うものがあったとしても、まずは本当かどうかを確かめる行動を。

Q2

〈正解〉

①③

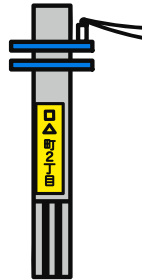
テレビ番組をネット上にアップするには、放送局や出演者、使用された音楽の作者など、関わった人すべての許可を取る必要があります。曲の歌詞には著作権があり、作者に無断でアップすることはできません。料理は著作物にはあたらず、建物は販売目的でなければ、写真のアップはOKです。



Q3

〈正解〉

①③④



郵便物には、氏名や住所が書かれているので注意。アップの自撮り写真は、拡大すると瞳に映った風景がわかってしまいます。それをヒントにアイドルの自宅が探し出された事件がありました。電信柱には町名が書かれているので、場所の特定につながってしまいます。

Q4

〈正解〉

①②④

「無料」と書かれたボタンはワンクリック詐欺の可能性が。よくわからないメールは、送信元のアドレスが不自然な文字列になっている場合もあるので、その確認はサイバー犯罪の防止に効果的です。セキュリティソフトやアプリも積極的に活用してOK。サイトへの登録をうながす指示に表示された電話番号に問い合わせると、こちらの電話番号がわかってしまうのでNGです。

Q5

〈正解〉

①②③④

①②はサイバー犯罪に巻き込まれる可能性があり、③はいじめにつながることも。④は間違った情報を広めてしまうかもしれません。少しでも不安なことがあれば、ひとりで悩まずに相談しましょう。

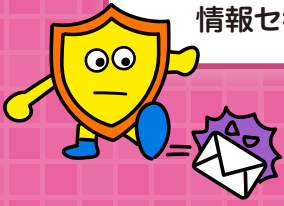


ネット安全教室のまとめ



世界を広げるインターネットでは
情報セキュリティも重要

SNS利用時は
個人情報と相手への思いやりを大事に



正しい情報と正しいルールで
ネットを楽しもう

ネット利用のルールを決めて
サイバー犯罪とネット依存から身を守ろう

困ったときの相談窓口

国（法務省）では、ネットコミュニケーションに関する悩みを相談できるサービスを用意しています。

電話で!



子どもの人権110番
0120-007-110

子どもの人権SOS-eメール

https://www.jinken.go.jp/soudan/pc_ch/0101.html



メールで!

LINEで!



SNS人権相談

LINEのアカウント名は「SNS人権相談」。「@snsjinkensoudan」でID検索しても見つかるよ!

インターネットトラブルにあったときの相談先

インターネットで困ったら、ここに相談しましょう!

18歳までの子ども専用の相談先

チャイルドライン

<https://childline.or.jp/index.html>



ネット・スマホの悩みを解決!

こたエール

<https://www.tokyohelpdesk.metro.tokyo.lg.jp/>

地元の警察に相談!

都道府県警察の少年相談窓口

<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>

